

ひとりひとりが大切にされる地域社会をつくる ～ワーカーズ・コレクティブはまちのコーディネーター～

全国会議はWNJ*が主催し、今回は東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合とNPO法人ACT（アビリティークラブたすけあい）が受け入れ団体となり開催しました。

コンセプトは「W.Coが地域で人やものをつなぐコーディネーターをしながら、協同組合型の地域社会づくりをすすめる意義を共有する」とし、1日目を全体会、2日目を分科会、自主企画、オプショナルツアーの企画でした。

W.Co千葉県連合会からは67名が参加し、生活クラブ虹の街をはじめとした千葉グループからも14名が参加しました。

全体会コーディネーターの明治大学の柳澤勝利さんからはW.Coはトレンドィでこれからの社会に必要な働き方ではあるが、経営や継続性の課題もあり、行政や生協がプラットフォームとなって安定した事業を行っていく必要があるとのことでした。

報告事例の一つ『人をつないで商店街を元気にする』は、W.Coういず代表でW.Co千葉県連合会の理事長でもある北田恵子さんの報告で、わくわ〜く105号にも掲載



「マンパワーを引き出すきっかけになるか？」北田理事長の報告

された、柏市大津ヶ丘で大盛況だったハロウィンパーティーの企画でプロジェクションマッピングの様子から、街のポテンシャルを引き出した様子がよくわかりました。

2日目は9つの分科会と自主企画が開催され、各論での意見交換や事例共有などが行われました。

5月には報告書が完成予定です。各事業所で活用し、全国会議を今後のW.Co事業の発展と広がりへ生かしていけるものにしたいですね。

*WNJ：ワーカーズ・コレクティブ ネットワークジャパンの略称。ワーカーズ・コレクティブの全国組織。

W.Co全国会議実行委員 風間由加

“命をつなぐ美味しい食事”をテーマに心をこめて作りました

1/16（土）生活クラブ千葉グループ新年会

総勢200名ほどが集まる生活クラブ千葉グループ新年会のオードブル料理をW.Coが担当して今年で4回目になります。

新年会を担当する食部会では、一昨年からメッシーちゃん（W.Co食のキャラクター）の“命をつなぐ美味しい食事”をキャッチコピーに、①つくり手確かな安心素材 ②これからもずっと伝えたい味 ③そのひと手間を大切に、の3つをテーマに取り組んでいます

今回は③の「そのひと手間を大切に」を心がけ、昨年の残菜状況などの反省を踏まえ9、10月に各事業所でメニューを話し合い、食部会にそれらを持ち寄り、肉・魚・



野菜のバランスや1つ1つを取りやすくすること、盛り付け方、容器の使い方などを試行錯誤してきました。

新年会が始まる前の盛り付けやセッティングをしながら、皆がその料理のできあがり成果を確認しあい、研修会のような様子でした。

今回も反省点はいくつかありますが、W.Co全体で協力し、参加した方々のご協力と「美味しかった」の言葉をいただき、食部会一同、さらに精進して、レベルアップを目指して取り組んでいけると考える新年会でした。

W.Co千葉県連合会 食部会担当理事 西脇園美

お仕事川柳募集しま〜す

W.Coで仕事をしている中で思うこと、家族や仲間の一言から感じること、などなど川柳にしてみませんか？掲載させていただいた方には薄謝進呈。

★応募先 下記W.Co千葉県連合会まで、メールまたはファックスで送ってください。

◆わくわ〜く105号修正とお詫び

わくわ〜く105号
1面 一覧表 風の村重心通所さくらの食数 15→25
2・3面『2013年「稲毛ビレッジ虹と風」が多機能複合施設としてオープン』は2011年
下線部に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

わくわ〜く work ちば

106
2016. 3

ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)とは…

同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす

全事業所でこれからのW.Co連合会を考えよう！

1月27日（水）生活クラブ虹の街本部にW.Co千葉県連合会に所属する全17団体30名程が集まり、研修と代表者会議を行いました。W.Co連合会の組織運営を理事会という代表制にして4年が経ちますが、全事業所が集まって話し合いをしていた運営委員会の良さを体現するため、全体研修と代表者会議を年1回開催しています。今年は研修企画をコミュニティー委員会が担当しました。

連合会全体研修 連合組織の機能とは

全体研修の企画・運営は今年度発足したコミュニティー委員会が担当しました。今回は、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会専務理事 折原佐知子さんを講師に迎え、「中間支援組織としての神奈川連合会の特色や課題、これから期待される機能や組織について」という題目で講演していただきました。

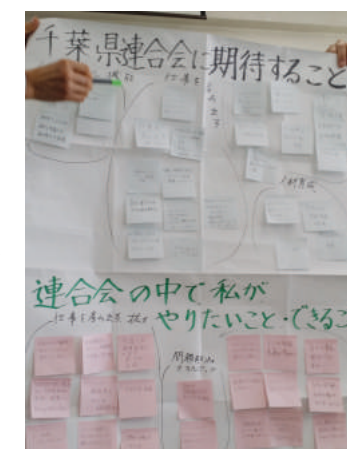
神奈川はW.Co発祥の地であり、現在も約150団体、約5000名の会員が、年間事業高約55億円という働きをしている組織です。しかし、この数値でも「2006年をピークに減少しており、連合会の在り方が問われている時期にきています」とのことでした。その対策として、現在「組織体制作り変え検討プロジェクト」が発足し、これからの連合会組織の在り方を検討しています。また、神奈川の特徴として、共育（ともい）講座や各種コンサルタント機能、W.Co基金やW.Co共済を立ち上げたことは、事業所や会員の

ニーズに対応する機能として発展充実させている様子がわかりました。



講師の折原さん

研修会後半は、参加者が3つのエリアに別れて、グループ討議とその発表を行いました。討議内容は、自分達の



ワークショップ形式で

の連合組織である千葉県連合会に期待すること、そして「その中で自分ができること」等を出し合いました。今回の研修の内容を事業所に持ち帰り、連合会を担う一員としての意識を持ち、日々の業務や活動に当たることで、経営や組織運営の向上につながると思います。

研修を通して、各メンバーがひとつでもふたつでもW.Coとしての引き出しを増やしていきたいと思います。

コミュニティー委員会 担当理事 柴山温行

代表者会議報告



活発に意見交換

今年度の代表者会議では、中間報告として専門部とエリアの各担当理事から事業計画の振り返りがありました。特色ある専門部報告や、各事業所の状況についての発言もあり、人員不足、世代交替など、同じような課題を抱えていました。

食との関わりのある連携事業が多くあることから、外部への発信、情宣の方法などについて全員で意見交換ができました。いろいろな意見が出る中で各事業所ですべき事柄を一つずつ積み上げていくことが必要なのだと思いました。

ハーブ 竹村純子